

避難所運営が進んでいく中で、いろいろな課題、問題が生まれてきます。まずはペットの問題。ペットは家族も同然という方が多く、ペット対策は必須です。また感染症対策も重要で、発熱や嘔吐下痢症の方を隔離する必要があります。

災害時には断水もあるので、飲料水、洗濯やトイレの対策も必要です。簡易トイレの設置も早急に必要となります。認知症の方や小さな子どもがいるお母さんたちをどの場所にするかなどの問題もあります。

食物アレルギーのある方はきちんと伝えることが重要です。混乱の中で担当者も気配りができずアレルギーの入った食材を配給することがあるかもしれません。食べる前にはきちんと確認することが必要です。

避難所運営に正解はありませんが、HUGを通じて避難所では様々なことが起こること、運営について様々な知識が必要なことを感じました。

3 情報交換

メンバーの方の中学3年の子どもさんが牛乳を卒業されたと嬉しい報告がありました。10年前、重症の食物アレルギーで岡山での治療に行き詰まり、途方に暮れていた時に大阪のアレルギーサークルの代表の方を通じて、信頼のおける専門医の先生を紹介していただきました。野を越え山越え定期的に大阪に通い親子ともども頑張りました。途中挫折したり、コロナ禍で中断したりと紆余曲折がありましたが、牛乳200ml飲めるようになりました。みんなで喜びを分かち合いました。



今回は、5月18日（日）浅口市健康福祉センターで、情報交換や今年度の活動計画について考えたいと思います。多数のご参加お待ちしております。

（浅口医師会 高山 晴彦）